

令和元年度
保護者アンケート調査の結果

令和元年 7 月

志學館大学事務局総務課

志學館大学 I R 室

保護者アンケート調査の結果

1. 目的等

本学の教育課程や教育手法等の改善を図るために、保護者の満足度及び本学への要望等を聴くアンケート調査を実施した。本調査は、平成29年度に続いて2度目である。

2. アンケート調査の方法

アンケートの内容： 質問は基本的に平成29年度と同じとし、被保護者学生及び回答者の属性に関する問に続いて、大学・学部についての満足度、本学が今後充実すべき点、本学の情報発信、保護者として被保護者に学生生活の中で力を入れてほしいこと、身近に4年制大学への希望者がいる場合本学を勧めたいかについての選択肢型の問及び教育内容等に対する意見・要望等に関する自由記述型の問の6部で構成した。いくつかの問は、さらに枝問に分けて問うた。

アンケート調査の対象者等： アンケート調査は、令和元年6月2日に開催された志學館大学後援会総会でアンケート用紙を配布し、無記名で、会終了後に回収箱に入れて貰った。

3. 結果の分析

回答者の属性等： 後援会総会参加者126名のうち、計90名から回答が得られた。回答者の被保護者の所属学部の数は、人間関係学部がやや多く、両学部の収容定員の比に近いものであったので、両学部について偏りなく回答が得られたと考えた。学年別では1年生と2年生以上の保護者がほぼ同数であった。母親による回答が多かった。

結果の記載法： 問に対し随所に無回答があったので、択一式の問の場合でも、表中の小計は回答総数より少ない場合がある。また、学部別、学年別の集計では、これらの区分が不明のものがあったので、区分別の数値の小計は、全資料の集計より少ない場合がある。以下の記述で、例えば「法学部の学生の保護者は」、「1年生の保護者は」等と書くべきところは、簡単のためにすべて「法学部では」、「1年生では」等と記した。

なお、以下の文中で本年度の数値の直後に括弧書きした数値は平成29年度調査のものを表す。

表1 アンケート調査回答者の属性（択一回答）

回答者区分		回答数	割合	
学生	学部	人間関係学部	51	0.57
		法学部	38	0.43
	学年	1年	44	0.50
		2年	17	0.19
		3年	16	0.18
		4年	11	0.13
		2年生・4年生	1	0.01
回答者		父親	10	0.11
		母親	69	0.78
		両親	10	0.11

3. 1 現時点で保護者としてどの程度満足していますか

大学及び学部に関する上記の問に対して、大学については「満足」と「やや満足」を合わせて67% (54%) であった。学年別でも、1年生と2年生以上とで同じ率を示し、平成29年度調査で1年生では44%と低かったのと異なっていた。「不満足」との回答はなく、「やや不満足」が1例であった。学部別では、人間関係学部では64% (59%) が、法学部では70% (47%) が、「満足」又は「やや満足」であった。

表2 大学に対する保護者の満足度 (択一回答)

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
満足	20	14	34	0.39
やや満足	9	15	25	0.28
普通	9	13	23	0.26
やや不満足	0	1	1	0.01
不満足	0	0	0	0.00
分からない	5	0	5	0.06
合計	43	43	88	1.00

表3 学部に対する保護者の満足度 (択一回答)

回答項目	人関	法学	合計	割合
満足	18	14	33	0.38
やや満足	13	12	25	0.28
普通	14	9	24	0.27
やや不満足	1	0	1	0.01
不満足	0	0	0	0.00
分からない	3	2	5	0.06
合計	49	37	88	1.00

3. 2 本学が今後さらに充実すべき点は何だと考えますか

回答者中の約半数が、「就職支援」、「教養を高める教育」、「専門性を高める教育」の3項目を挙

表4 本学が充実すべき点 (学部別集計、複数回答可、割合算出時の分母は回答者総数)

回答項目	人関	法学	合計	割合
就職支援	30	22	53	0.58
教養を高めるための教育	20	27	47	0.52
専門性を高めるための教育	24	19	43	0.47
英語力を高めるための教育	17	7	25	0.27
キャリア教育	6	7	13	0.14
国際交流活動	10	6	17	0.19
コンピュータ能力を高めるための教育	9	8	18	0.20
学生生活に対する支援 (奨学金・サークル活動等)	14	4	19	0.21
大学のスポーツ活動	3	6	9	0.10
公開講座等の生涯学習教育	4	4	9	0.10
広報活動	2	3	5	0.05
教育の研究活動	2	0	2	0.02
施設・設備	1	3	4	0.04
合計	150	118	271	

げた。「研究活動」、「施設・設備」、「広報活動」は少なかった。

両学部の比較では、上記で回答数が多かった3項目に次いで、人間関係学部では「英語力を高める教育」が、法学部では「コンピュータ能力を高めるための教育」が挙げられた。

学年別での差は、顕著ではなかったが、「専門性を高める教育」、「生涯学習教育」、「研究活動」は、2年生以上では1年生に比べ多い傾向があった。逆に、「教養を高めるための教育」、「施設・設備」は、2年生以上で少ない傾向があった。

表5 本学が充実すべき点（学年別集計、複数回答可、分母は回答者総数）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
就職支援	26	25	53	0.58
教養を高めるための教育	26	20	47	0.52
専門性を高めるための教育	19	23	43	0.47
英語力を高めるための教育	11	12	25	0.27
キャリア教育	6	6	13	0.14
国際交流活動	8	8	17	0.19
コンピュータ能力を高めるための教育	8	9	18	0.20
学生生活に対する支援（奨学金・サークル活動等）	11	7	19	0.21
大学のスポーツ活動	4	5	9	0.10
公開講座等の生涯学習教育	2	7	9	0.10
広報活動	2	3	5	0.05
教育の研究活動	0	2	2	0.02
施設・設備	4	0	4	0.04
合計	131	130	271	

3.3 本学の情報発信について伺います

本学からの情報提供に満足していますか： 全体では、「満足」と「やや満足」を合わせて53%（33%）で、29年度調査の結果を大きく上回った。学年別では、2年生以上で「やや満足」と「やや不満足」の両者が多く、1年生時の「分からない」が2分する傾向が表れた。

表6 本学の情報発信に対する保護者の満足度（択一回答）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
満足	9	10	19	0.22
やや満足	10	17	27	0.31
普通	14	12	28	0.32
やや不満足	1	4	5	0.06
不満足	0	0	0	0.00
分からない	7	1	8	0.09
合計	41	44	87	1.00

どのような種類の情報をもっと発信すればよいでしょうか： 「就職に関する情報」が67%（64%）で特に多く、次いで「学習成果に関する情報」、「教育内容に関する情報」が多かった。「大学の経営状況に関する情報」を求めたものはごく少なかった。学年別では、2年生以上では1年生に比べ、「就職に関する情報」が多く、「学習成果に関する情報」が少なかった。

表7 本学が発信すべき情報（学年別別集計、複数回答可、分母は回答者総数）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
就職に関する情報	24	34	60	0.66
学習成果に関する情報	22	11	34	0.37
教育内容に関する情報	15	16	31	0.34
大学全般に関する情報	11	8	20	0.22
経済的支援に関する情報	8	4	12	0.13
大学の経営状況に関する情報	1	1	3	0.03
サークル・学生生活に関する情報	9	7	17	0.19
その他	0	2	2	0.02
合計	90	83	179	

3. 3 保護者としてお子様に学生生活の中で力を入れてほしいことは何ですか

勉強全般について： 「社会人として恥ずかしくない学力や知識を身につける勉強」、「学部の専門的な勉強」、「幅広い教養を身につける勉強」がすべてほぼ50%以上で高く、「ゼミや卒業論文」を上げた回答者は少なかった。学年別では、1年生に比べ2年生以上では、「社会人として恥ずかしくない学力や知識を身につける勉強」、「ゼミや卒業論文」が多かった。

表8 勉強全般の中で力を入れて欲しいこと（学年別別集計、複数回答可、分母は回答者総数）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
学部の専門的な勉強	28	25	54	0.59
社会人として恥ずかしくない学力や知識を身につける勉強	22	39	62	0.68
幅広い教養を身につける勉強	24	20	45	0.49
ゼミや卒業論文	3	6	9	0.10
合計	77	89	170	

英語・海外体験について： 「コミュニケーションのための英語の勉強」を挙げた者が74%が多かった。2年生以降では、この質問のすべての選択肢でやや少なかった。

表9 英語・海外体験学修の中で力を入れて欲しいこと（学年別別集計、複数回答可）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
コミュニケーションのための英語の勉強	34	32	67	0.74
テスト(TOEFL、TOEIC 等)のための英語の勉強	13	8	22	0.24
留学などの海外体験	9	7	17	0.19
合計	56	47	106	

卒業後の準備について： 「将来の進路や生き方を考えること」、「就職に役立つ知識やスキルを身

表10 卒業後の準備の中で力を入れて欲しいこと（学年別別集計、複数回答可）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
将来の進路や生き方を考えること	26	35	63	0.69
就職に役立つ知識やスキルを身につけること	26	25	52	0.57
資格取得のための勉強	22	19	42	0.46
社会人として長く働いていくための知識やスキル	14	16	30	0.33
公務員などの試験対策準備	13	16	30	0.33
業種や企業の実態を知ること	9	11	20	0.22
合計	110	122	237	

につける」が50%以上で、その他の選択肢でも概ね回答数が多かった。1年生に比べ2年生以上では、「将来の進路や生き方を考えること」や「公務員などの試験対策準備」が増加した。

課外活動について： 「社会活動(ボランティア、NPO等)」が多く、「読書」が少なかった。2年生以上では、「社会活動(ボランティア、NPO等)」が多かった。

表11 課外活動の中で力を入れて欲しいこと（学年別別集計、複数回答可、分母は回答者総数）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
サークル活動	17	15	33	0.36
アルバイト	14	14	28	0.31
社会活動(ボランティア、NPO等)	19	24	44	0.48
読書	6	6	13	0.14
合計	56	59	118	

対人交流その他： 「学生自身が大学で打ち込みたいことを見つけること」、「友だちとの交流や対話」、「教職員との交流や対話」が50%以上で高かった。ただし、すべての選択肢で、2年生以上では少なかった。

表12 対人交流その他で力を入れて欲しいこと（学年別別集計、複数回答可、分母は回答者総数）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
友だちとの交流や対話	31	26	57	0.63
教職員との交流や対話	28	21	50	0.55
OG や OB、大学外の社会人との交流	20	13	34	0.37
学生自身が大学で打ち込みたいことを見つけること	27	22	60	0.66
合計	106	82	201	

3. 4 もし、身近に4年制大学への希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか

「勧めたい」が66%で多く、「勧めたくない」はなかったが、無回答が約1割いるといった傾向は29年度調査とほぼ同じであった。

表13 身近な4年制大学希望者に本学を勧めたいか（学年別別集計、択一回答）

回答項目	1年生	2～4年生	合計	割合
勧めたい	29	30	60	0.66
勧めたくない	0	0	0	0.00
分からない	12	8	21	0.23
合計	41	38	81	

3. 5 本学及び学部の教育内容等に対する意見、要望等があれば書いてください

上記の自由記述の間では、29件の記載があった。これに、他の質問項目に付された自由記述欄の記を加え、本学に関する評価にあたる意見と要望に分け、さらにそれぞれを教育内容等に関するものと運営その他に関するものに分けて表14に整理した。この際、同一回答者が各所ではほぼ同じ意見を書いている場合は1件と見なした。なお、表中では、問題点の指摘は、すべて改善を求める意見としてのポジティブな表現に直して記載してある。

評価では、「親身で手厚い支援（心の問題等を含む）」と要約できる意見が5件と多かった。また、就職に関する取組み・成果を評価するものが2件あった。

要望で、「ハラスメント教育」、「社会人との交流」、「インターンシップ」、「起業支援」など、社会性の高い教育を望む声があったのは、本年度の特徴といえる。「補講の重複を避けて欲しい」との声には、早急に対処が必要である。「情報発信・アピール」を求める意見、「資格」関係のさまざまな要望は29年度と重複するが、より具体的なものが多かった。

表 14 本学及び学部の教育内容等に対する意見・要望（自由記述、括弧内の数字は類似の意見の数）

	評価	要望
教育内容等に関するもの	親身で手厚い支援（心の問題等を含む）(5) 充実した教育内容 丁寧な修学説明 就職活動等の成果・情報提供(2)	各種ハラスメントについての教育 社会人との交流 インターンシップ 起業支援 取得出来る資格の増加 心理臨床学科のコース分け決定過程基準の明確化 心理臨床学科のコース決定の時期を早く 支援が必要な学生の受け入れ事例の説明 学生生活の実体験談（成功・失敗例）の文集 個性をいかしながら育ててほしい 大学生で身につけられるものを見つける学修
運営その他に関するもの	しっかりとした教育運営 安定して伸びている就職率 人間関係の築きやすさ	学部の専門分野の魅力発信 補講の重複を避けて欲しい 再試験を1・2・3年次でも行ってほしい Wifiの高速化 SNSによる情報発信 土曜日以外での総会開催 サッカー部の拡大 事務手続きを近くに設置

4. まとめ

「大学・学部への満足度」や「本学を他の4年制大学進学希望者に勧めたいか」の問に対して、ポジティブな回答が多く、29年度調査に比べて1年生でそれらが多かったのは、本学への理解とその教育内容や姿勢への支持が入学時から高くなっていることを示していると判断する。

29年度調査では、情報提供に対する満足度が高くなかったが、今回の調査では、この点を指摘する意見は多くはなかった。大学の改善取り組みの結果であるか否か、さらにモニタリングが必要と考える。

本学が充実すべき事項で「就職支援」を求める意見が最も多かったことと、発信すべき情報では「就職情報」を求める意見が最も多かったこと、卒業後の準備の中で力を入れて欲しいこととして「将来の進路や生き方を考えること」、「就職に役立つ知識やスキルを身につけること」を求める意見が多かったことなどは、平成29年度調査から変化はなく、就職が保護者の最大の関心事であり続けていることを示しており、この点は本学の重点施策と一致している。ただし、一方では、「キャリア教育」や「業種や企業の実態を知ること」、「社会人との交流」などを求める声は多くはなかったことから、現代の大学教育の中で特に社会人・職業人としての意識の涵養

を重視していることを理解してもらうための説明が不足していると考ええる。

キャリア教育を重要とする意見が少なかったのは、現在の保護者の世代にはこの語が理解されにくいことが理由の一つである可能性がある。社会人との交流を重視する意見が少なかったことも、インターンシップ等を重視する現代の大学教育が十分に理解されていないことが原因の一つである可能性がある。ただ、本調査の新しい傾向として、自由記述で「ハラスメント教育」、「社会人との交流」、「インターンシップ」、「起業支援」といった社会性の強い意見が現れたことには注目したい。

上記のように就職に焦点を置くと同時に、「教養を高めるための教育」、「専門性を高めるための教育」を重視する意見も多い点も、29年度調査から変化はなかったことから、保護者は子に対して「社会人として恥ずかしくない学力や知識を身につける勉強」、「幅広い教養を身につける勉強」、「学部の専門的な勉強」を強く求めており、就職という実利的成果ばかりでなく、広範な大学卒業者としての能力の獲得を望んでいることも明らかである。ここでも、「卒業論文」を支持する声が極めて少ない点は、これが研究の成果を追求するものと誤解され、大学での学修を統合化し各種の課題を自ら解決する能力の涵養を目指した総合教育科目であることの説明が不足しているためであろうと推量する。

これまでの調査での質問項目の中には、「教育の研究活動」といった質問の意味が分かりにくいものや、複数の異なった意味に解釈できる選択肢がいくつかあった点は、改善すべきである。

令和元年6月2日

付録

令和元年度 志學館大学保護者アンケート

志學館大学では、保護者の皆様が本学の運営、教育等についてどのように感じ、またどのようなご要望をお持ちなのかを把握し、それらを今後の大学運営に活用したいと考えております。

つきましては、下記の質問について、ご回答いただきますようお願いいたします。

お子様は？ (人間関係 ・ 法) 学部 () 年
あなたは学生の ①父親 ②母親 ③その他

1. 現時点で、保護者としてどの程度満足していますか。

それぞれ当てはまる数字に1つ○をつけてください。

(1) 大学について

①満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満足 ⑤不満足 ⑥分からない

(2) 学部について

①満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満足 ⑤不満足 ⑥分からない

2. 本学が、今後さらに充実すべき点は何だとお考えですか。

当てはまる数字に○をつけてください。(複数回答可)

- ① 就職支援
- ② 学生の教養を高めるための教育
- ③ 学生の専門性を高めるための教育
- ④ 学生の英語力を高めるための教育
- ⑤ キャリア教育
- ⑥ 国際交流活動
- ⑦ 学生のコンピュータ能力を高めるための教育
- ⑧ 学生生活に対する支援(奨学金・サークル活動等)
- ⑨ 大学のスポーツ活動
- ⑩ 公開講座等の生涯学習教育
- ⑪ 広報活動
- ⑫ 教育の研究活動
- ⑬ 施設・設備
- ⑭ その他 ()

3. 本学の情報発信についてお伺いします。

(1) 本学からの情報提供に満足していますか。当てはまる数字に1つ○をつけてください。

- ①満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満足 ⑤不満足 ⑥分からない

(2) どのような種類の情報をもっと発信すればよろしいでしょうか。

当てはまる数字に○をつけてください。(複数回答可)

- ① 就職に関する情報
② 学習成果に関する情報
③ 教育内容に関する情報
④ 大学全般に関する情報
⑤ 経済的支援に関する情報
⑥ 大学の経営状況に関する情報
⑦ サークル・学生活動に関する情報
⑧ その他 ()

4. 保護者としてお子様に学生生活の中で力を入れてほしいことは何ですか。

(1) ～(6) のそれぞれ当てはまる数字に○をつけてください。(複数回答可)

(1) 勉強全般について

- ① 学部の専門的な勉強 ② 社会人として恥ずかしくない学力や知識を身につける勉強 ③ 幅広い教養を身につける勉強 ④ ゼミや卒業論文

(2) 英語・海外体験について

- ① コミュニケーションのための英語の勉強
② テスト (TOEFL、TOEIC 等) のための英語の勉強
③ 留学などの海外体験

(3) 卒業後の準備について

- ① 将来の進路や生き方を考えること
② 就職に役立つ知識やスキルを身につけること
③ 資格取得のための勉強
④ 社会人として長く働いていくための知識やスキルの勉強
⑤ 公務員などの試験対策準備
⑥ 業種や企業の実態を知ること

(4) 課外活動について

- ① サークル活動 ② アルバイト ③ 社会活動（ボランティア、NPO等） ④ 読書

(5) 対人交流について

- ① 友だちとの交流や対話
② 教職員との交流や対話
③ OGやOB、大学外の社会人との交流

(6) その他

- ① 学生自身が大学で打ち込みたいことを見つけること
② その他（自由記述）

5. もし、身近に4年制大学への希望者がいる場合、本学を勧めたいと思いますか。当てはまる数字に1つ○をつけてください。

- ① 勧めたい ② 勧めたくない ③ 分からない

6. その他、本学及び学部の教育内容等に対してのご意見、ご要望等があればお書きください。

ご記入いただいたアンケートは、総会会場または一階の回収箱にて回収いたします。
ご協力ありがとうございました。